

# おけのこ

藤河内溪谷 (佐伯市宇目町)

## 2018年 第2回 定例県議会

### 災害からの復旧、防災・減災対策 おおいた地方創生を加速前進



\*線状降水帯  
冷たい空気  
と温かく  
湿った空気  
の境界付近  
で積乱雲が  
次々と発生  
発達し、同  
じ場所に激  
しい降水を  
もたらす雨  
域となる

先般、四月十一日未明に発生した中津市耶馬溪町の大規模な斜面崩壊に関しては、

#### 災害からの復旧・復興について

二〇一八年第一回定例県議会は六月十二日に開会し、延べ十六日間わたる審議を行いました。六月二十七日には、すべての議案採決が行われ、全会議日程を終えました。

今議会での決定事項は、中津市耶馬溪町の斜面崩壊の復旧事業費を含む約二十億円の補正予算のほか、「プレジャーボート等の係留保管の適正化に関する条例」、「おおいた動物愛護センター」並びに「大分県立武道スポーツセンター」の設置及び管理に関する条例等です。

台風や集中豪雨が心配される季節を迎え、風水害・土砂災害に万全の備えをしなければなりません。

今回議決した補正予算により、本格復旧が急がれるところですが、併せて、後背地に斜面がある地形は県内あちこちに存在し周辺住民の不安も多いことから、崩壊の発生原因の解明も急務です。また現在、土砂災害危険区域に基づく土砂災害危険区域の調査が進められています。県内の調査完了率は本年五月末時点で約六割であり、市町村が作成するハザードマップ(被害予測地図)の整備を進めるためにも早期完了が必要です。

近年は、九州北部豪雨に見られるような「線状降水帯」が毎年のように発生し、九州に限らず日本各地で大きな災害を引き起こしています。災害復旧を急ぐとともに、河川拡張や流木対策用ダムなどの設置など、防災・減災のための工事も進め、災害への備えをしっかりとしなければなりません。

なお、昨年の災害で不通となったJR久大本線はこの七月に運行再開となったところですが、残る日田彦山線と豊肥本線(熊本県側)の復旧も着実に進める必要があります。

#### 大分県版地方創生の加速前進について

「国立社会保障・人口問題研究所」が本年三月末に公表した将来推計人口によると、本県は二〇三五年頃に百万人を切り、人口減対策をとらずに放置すると、今世紀末には四十六万人程度になると想定されています。人口の自然減に対しては、子育て環境の整備が欠かせません。

今年四月時点の県内保育所の待機児童数は、目標の「ゼロ」には至りませんでした。保育所の整備・定員拡大が進められた成果ですが、年度途中での待機増も懸念され、保育士の処遇改善と合わせた人材確保にさらに力を注ぐべきです。



「おんせん県議会若者DAY」にて、県内の短大生・大学生と意見交換

一方、人口の社会減に対しては、魅力ある働く場づくりが欠かせません。昨年度は、過去最多となる五十五件の企業誘致があり、これまで誘致実績が少なかった玖珠町や姫島村にも企業進出が相次ぎました。同時に移住政策も全国から注目を集め、移住者数も過去最多の一〇八四人の実績を上げています。

## 新たに設置される公の施設の管理方法や使用料等を決定

来年、2つの施設が新たに開設されます。それらの設置及び管理に関する条例が今議会で議決され、管理方法や使用料等が決まりました。

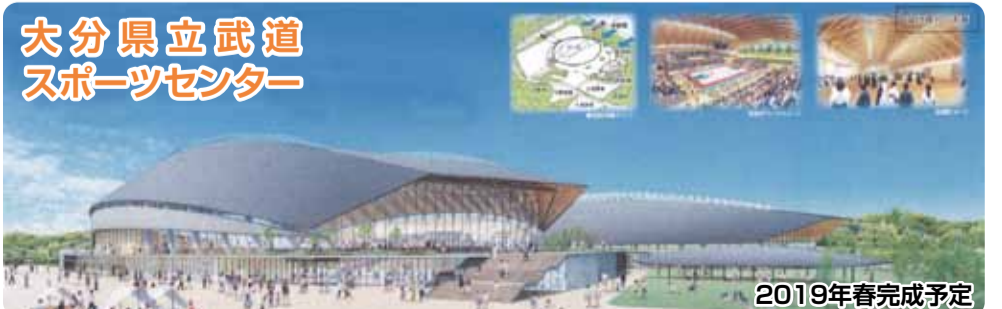
- 大分市廻栖野(九州乳業本社敷地の一部を取得)に設置される「おおいた動物愛護センター」は、動物愛護等の普及啓発を図るほか、人と動物が交流できる場を提供することを目的としています。なお、施設には「ドッグラン」が併設されます。(ドッグラン共同使用スペース利用の場合：時間当たり350円以内)



2019年2月オープン予定

- 大分スポーツ公園内の「大分銀行ドーム」に隣接して設置される「大分県立武道スポーツセンター」は、大規模大会も開催可能な武道競技をはじめとした屋内スポーツの拠点として設置されます。(多目的競技場をスポーツ目的で3,240㎡使用する場合：時間当たり3,650円) また、トップリーグ公式戦を誘致するなど、スポーツ観光の拠点でもあり、大規模災害に備えた広域防災拠点の中核施設にもなります。

## 大分県立武道スポーツセンター



2019年春完成予定

#### 文化・スポーツイベントを通じた観光振興

これら一定の成果がある」と申しましたが、本県の人口減少に歯止めが掛かっていく訳ではありません。施策を緩めず、さらに新たなアイデアも打ち出しながら大分の地方創生を前進させなければなりません。

この秋には、「県民総参加」新しい出会い、新たな発見、「地域をつくり、人を育てる」の三つの基本方針のもと、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が開催されます。

六月に大分銀行ドームで開催されたラグビー日本代表戦では、大分県のラグビー史上初、約二万六千人の観客が会場を訪れました。

観客輸送、イベントや大会の盛り上げ方など、来年のラグビーワールドカップに向けて検証した成果を活かしていきたいと思います。今年の秋の文化イベントでは全国から、そして来年秋のスポーツイベントでは国内だけでなく世界から多くの関係者や観客が大分を来県します。

訪れる人に大分を十二分に味わっていただき、そして大分の魅力を国内外に発信してもらおう千載一遇のチャンスです。

地方創生を前に進めるに於いては、観光振興も重要な施策です。地域の魅力をさらに磨き上げ、訪れた人を感動させる

「おもてなし」も演出したいものです。



## 引き続き、県議会広報委員会副委員長に

今年度も広報委員会副委員長として、広報紙の発行、「出前県議会」や「議員出前講座」の実施など、より身近な県議会となるよう広報活動を推進します。

なお、所属常任委員会は「福祉保健生活環境委員会」で、「福祉保健部、生活環境部、病院局(県立病院)」の所管事項を担当します。



# 福祉保健生活環境委員会管内調査

第2回定例会前、常任委員会で県内所管の事務・事業や施設の状況等の調査に伺いました。今回は、県内6箇所の振興局や保健所等の取組をヒアリングしたほか、現地21箇所を視察しました。

県立玖珠美山高等学校（玖珠町）―地域の自然と環境を守るため頑張る―

同校の生徒は、県の天然記念物で絶滅危惧種にも指定されている、玖珠町の「レンゲツツジ」の保護活動に地域の人々と連携して取り組んでいます。

また、「バークマット」(杉の伐採時に排出される樹皮を加工したもので、トマトの栽培用に土の替わりとして利用される)の開発について、生徒からプレゼンテーションがありました。



この技術は循環型農業をめぐす面的な試みで、四年間の研究を経て実用化されています。なお、この技術は生徒により開発されたもので特許を取得していません。(特許権はその生徒にあるそうです)

大変すばらしい成果を挙げている生徒の皆さんへ「貴重な経験を生涯忘れないでほしい」と、エールを送ってきました。

石城コミュニティスペース―ふれあいと共生の拠点―

放課後児童育成クラブのほか、障害者総合支援や介護保険事業にも取り組む共生型施設として、今年の五月にオープンした施設です。



地域のNPO法人が主体となり、子どもの発達に関する相談から高齢者の介護サービスまで、多種多様な取組みを行っています。周りの豊かな自然環境を活かし、障がい児や高齢者等の多世代が交流する運営が特徴で、地域の方々が気軽に集える居場所となることが目標です。

NPO法人も運営費の確保には、大変な苦労があると思います。「よほどの思い入れがなくして、この施設は成り立たないだろう」と、感心したところでした。

大分県防災航空隊(豊後大野市大野町)―命と県民の暮らしを守る―

一九九五年の「阪神・淡路大震災」を契機に、ヘリコプターの機動力を活かし

た防災体制が求められ、大分県では一九九七年四月に「大分県防災航空隊」が発足しました。



「防災ヘリコプター」とよ「かぜ」に隊員が乗り込み、災害・山岳遭難時の救援や空からの消火活動などを行っています。

危険な任務ですが、命と県民の暮らしを守るため、隊員が日々の訓練を行います。万一の事態に備えています。

藤河内溪谷(佐伯市宇目町)―自然と人の調和と共生―

昨年六月に登録された「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」(生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としたもの)のエリア内にあります。



澄みきった清流がそそぐ溪谷は、とても癒されます。夏はキャニオニング、冬は凍結した滝が絶好の「インスタ映え」ポイントとして人気だそうです。

## 最近の動き

### 4月

- ▷ 海外戦略・香港セブンス調査(香港) 訪日旅行や7人制ラグビー世界大会の運営状況を調査(下欄の「竹の子記」に感想を記述)



- ▷ 小中学校入学式(豊府小学校、南大分中学校)
- ▷ 大分県土木事務所管内事業説明会
- ▷ 県議会広報委員会、福祉保健生活環境委員会
- ▷ 第89回メーデー大分県中央集会(若草公園)

### 5月

- ▷ 福祉保健生活環境委員会県内所管事務調査(日出町・国東市)
- ▷ 農林水産委員会県内所管事務調査(佐賀関漁協ほか)
- ▷ 第55回九州各県議会議員親善野球大会(長崎市)
- ▷ 総務企画委員会県内所管事務調査(県立美術館ほか)
- ▷ 福祉保健生活環境委員会県内所管事務調査(九重町・日田市・玖珠町)
- ▷ ラグビーワールドカップ2019開催500日前イベント
- ▷ 世界温泉地サミット(別府市)



「観光、医療・健康・美容、エネルギー」をテーマに、これからの温泉活用のあり方について議論

- ▷ NPO法人 大友氏顕彰会通常総会
- ▷ 第13回大分県障がい者スポーツ大会

- ▷ 文教警察委員会県内所管事務調査(高速道路交通警察隊)
- ▷ 福祉保健生活環境委員会管内所管事務調査(豊後大野市・竹田市・佐伯市・大分市)
- ▷ 商工労働企業委員会管内所管事務調査(産業科学技術センターほか)

### 6月

- ▷ 連合大分「働き方改革」街頭宣伝活動(トキ八前交差点) 「社会も発展し技術革新も進んできた。働き方も抜本的に見直されるべきです」
- ▷ 地方議員研究会議員力アップ講座(那覇市)
- ▷ 平成30年度国道210号改修促進協議会役員会
- ▷ 大分県議会都市政策研究会
- ▷ リポビタンDチャレンジカップ2018(ラグビー日本代表vsイタリア代表:大銀ドーム)
- ▷ 2018年第2回定例県議会開会
- ▷ おんせん県議会若者DAY
- ▷ 第13回食育推進全国大会(J:COMホルトホール大分) 「食」は、心身の健康を保つ基本中の基本。将来を担う子ども達にとって、「食」との関わり合いは特に大切
- ▷ 平成30年度大分外郭環状道路建設促進協議会総会
- ▷ NPO法人 大分県地酒・焼酎文化創造会議第2回総会
- ▷ 2018年第2回定例県議会閉会



## 防災士 木田昇の 防災メモ



### 不測の土砂災害に備えて

夏から秋にかけて台風や集中豪雨が心配される季節ですが、浸水とともに注意しなければならないのが「土砂災害」です。

ほとんどの場合は、大雨や地震等が引き金となって、がけ崩れや地すべり等が起きます。しかし、今年の4月11日には中津市耶馬溪町にて、雨も地震もないなか突如として大規模斜面崩壊が発生しました。

現場では、懸命の捜索活動が続けられましたが、残念ながら6名の死亡が確認されました。心からご冥福をお祈りいたします。

現在、県内約2万箇所にあたる土砂災害警戒区域等の調査が急ピッチで進められています。警戒区域等の地図情報は、インターネットで公開されているので、そちらをご参照ください。(「大分県土砂災害危険箇所情報」を検索し、インターネット提供システムを選択)

それらの情報を参考に、土砂災害の危険が想定される場合の自主避難・防災対策に活用するほか、不測の備えも忘れずに。

## 公式ホームページ&ブログ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



“大分県議会議員 木田昇”で検索  
「http://oita-kida.net/」

\*県民クラブ HP はコチラ  
(http://www.oct-net.ne.jp/shakai-1/)

### 竹の子記

ロシアでのサッカーW杯の次は、来年の秋開催のラグビーW杯日本大会。先般、大分開催での参考にするため、香港セブンスの大会を調査してきました。香港セブンスは、七人制ラグビーの国際大会で、ラグビーW杯の雰囲気に近いと知られています。会場は、香港スタジアムは大会の香港スタジアムは大銀ドームと同じ四万人が収容可能。球技専用スタジアムなので、ピッチとの距離が近く、迫力あるプレーを間近に観戦できます。会場へ入ると、欧米系の観客が多く目立ちました。が、ほとんどの人が仮装しているのに驚き。ストパーマン、ワンダーウーマンにミニオンズと、見事なものでした。▼そして、噂には聞いていましたが、欧米系の方々のビールを飲む量が「半端ない」。500mlのカップから販売されているのですが、買われるのは2ℓのサイズがほとんど。しかも次々とお代わりしています。▼また、試合の間には、ロックバンドの生演奏やダンスの演出もあり、会場は相当な盛り上がりです。日本のラグビー会場の雰囲気とは、かなり違うなと感じました。▼会場で大分のPRもしてきましたが、来年は外国から多くの観客が訪れることと期待しています。「大分での試合観戦が一番楽しかった」と言われるよう、大会の成功に向けて提言していきます。